

第64回環境医学研究所

第55回研究推進委員会合同セミナー

非アルコール性脂肪肝炎における マクロファージの多様性

略歴

2002年に神戸大学医学部を卒業後、神戸大学大学院、国立国際医療研究センター研究所で糖尿病の病態形成メカニズムを研究。

2012年に博士号(医学)を取得。その後、国立国際医療研究センター研究所分子代謝制御研究部室長を経て、2016年から2020年まで米国カリフォルニア大学サンディエゴ校に留学し、肝臓の組織環境シグナルによる単球・マクロファージのリプログラミング機構を研究。

2020年8月より現職。

2022年 日本糖尿病学会リリー賞を受賞。



酒井 真志人先生

(日本医科大学大学院医学研究科 分子遺伝医学分野・教授)

非アルコール性脂肪肝炎(NASH)では、循環中の単球が肝臓に遊走して複数のマクロファージ集団を形成し、炎症と線維化の進展に寄与する。そのため、NASHの病態解明において、肝臓中で多様なマクロファージ集団が形成されるメカニズムの理解が重要と考えられた。本講演では、肝臓マクロファージが組織・疾患特異的な形質を獲得する分子機構に対するゲノミクスを用いたアプローチについて紹介したい。

日時：2023年6月23日(金) 17:30~18:30

Zoom配信併用

会場：順天堂大学医学部附属浦安病院8階

環境医学研究所カンファレンスルーム



(環境研HP)



*6月22日(木)正午までにお申込ください

参加申込先：kanken@juntendo.ac.jp

(大学院医学研究科)



環境医学研究所

共催：順天堂大学大学院医学研究科